

## ■グラウンド表層材比較表

表層材	クレイ舗装	天然芝	人工芝	ウレタン舗装
検討路面構成	<p>改良クレイ 100mm 火山レキ 100mm~300mm 押コンクリート 80mm (躯体勾配1/100、表面勾配1/200)</p>	<p>天然芝 軽量土 (CCソイル) 150mm 根止シート 火山レキ 100mm~300mm 押コンクリート 80mm (躯体勾配1/100、表面勾配1/200)</p>	<p>ロングパイル人工芝、ショートパイル人工芝</p>	<p>ゴムチップウレタン</p>
特徴	<p>(長所) ・各種競技に対応が可能 ・利用上の制限が特にない ・維持管理が容易</p> <p>(短所) ・強風により砂埃が発生</p>	<p>(長所) ・環境に優しく怪我も少ない ・遊びの多様化が期待できる ・美観に優れている</p> <p>(短所) ・競技種目により利用制限がある ・養生期間中の利用制限がある ・生徒数が多いと芝が傷む(剥げる) ・競技後の芝のダメージが大きい ・維持管理の負担が大きい</p>	<p>(長所) ・美観に優れ怪我も少ない ・遊びの多様性が期待できる ・競技種目により雨天時の利用が可能</p> <p>(短所) ・競技種目により利用制限がある</p>	<p>(長所) ・陸上競技にもっとも適合 ・競技種目により雨天時の利用が可能</p> <p>(短所) ・跳躍運動や競技種目等によっては体への負担が大きい</p>
機能性 (スポーツの適正)	<p>野球 ・通常のスパイクでの利用が可能</p> <p>サッカー ・通常のスパイクでの利用が可能</p> <p>陸上競技 ・通常での利用が可能</p> <p>運動会等 ・各種競技やイベント等に最も利用しやすい</p>	<p>・専用のスパイクが必要 ・バッターボックス、ベース周囲、ピッチャーマウンドは土系の舗装が必要。但し、他競技での利用に支障有り</p> <p>・通常のスパイクでの利用が可能</p> <p>・適さない (トラックを土系の舗装とした場合は可。 但し、他競技での利用に支障有り)</p> <p>・各種競技に利用しやすい。但し、トラックは土系の舗装とする必要がある。</p>	<p>・専用のスパイクが必要 ・バッターボックス、ベース周囲、ピッチャーマウンドは土系の舗装が必要。但し、他競技での利用に支障有り</p> <p>・通常のスパイクでの利用が可能</p> <p>・適さない (トラックを土系舗装とした場合は可。 但し、他競技での利用に支障有り)</p> <p>・各種競技に利用しやすい。但し、トラックは土系の舗装とする必要がある。</p>	<p>・適さない</p> <p>・適さない</p> <p>・最も適合</p> <p>・競技種目や内容等により利用制限が多い</p>
維持管理	<p>・使用状況により土の補填や地ならしが必要 ・砂埃対策が必要</p>	<p>・定期的に芝刈り、施肥、除草、灌水が必要 ・芝の損傷によりパッチワークが必要 ・時期により養生が必要</p>	<p>・5年程度を目安に充填材の補充が必要 ・一定期間使用により張り替えが必要 (メーカー保証一般的に8年程度)</p>	<p>・摩耗状態により、オーバーレイ処置等が必要 ・一定期間使用により張り替えが必要 (一般的に5年程度で部分的な補修が必要)</p>
総合評価	通常の学校と同じ仕様であり、各種競技やイベントに最も利用しやすい	環境に優しくまた怪我も少ないなどのメリットが期待できるが、競技内容や芝生養生等による利用制限があり、また維持管理の負担が大きい。	美観に優れ、また怪我も少ないなどのメリットが期待できるが、競技内容等により利用が制限される。	陸上競技には最も適しているが、他の競技にはあまり適さない。